

米沢市SDGs「わたしのなせばなる」を紹介します

企業・団体名 株式会社ニューテックシンセイ

代表者氏名 桑原 晃

関係するSDGsの目標（ゴール）に○を書いてください。（複数選択可）

①貧困 		②飢餓 		③保健 		④教育 	○	⑤ジェンダー 		⑥水・衛生 	
⑦エネルギー 		⑧経済成長・雇用 		⑨インフラ・産業化・イノベーション 		⑩不平等 		⑪持続可能な都市 		⑫持続可能な生産と消費 	○
⑬気候変動 		⑭海洋資源 	○	⑮陸上資源 	○	⑯平和 		⑰実施手段 			

取組のタイトル

木からはじまるSDGs

取組の説明

※SDGsの各ゴールの達成にどのように貢献するかなどを記載してください。

※欄が不足する場合や写真・画像がある場合は任意様式（A4タテ）で提出してください。

④質の高い教育をみんなに

生活の中で本来の自然に触れる事が困難になっている現代は、自然の魅力を感じるきっかけ自体が少なくなっています。そんな時代の中で私たちが自然に囲まれたこの山形の地で生活している意味を見つめ直し、自然の魅力をお伝えする事を使命の一つと考え、自然を五感で感じていただくための手段を形にしたものが「もくロック」です。

この身近な資源との共存は、子供達の成長にも大きな恩恵を与えてくれます。澄んだ空気をめいっぱい吸い込み、手のひらで木々の温もりを感じることが出来る森林で、創造性のかたまりである子供達は思いつくままに遊びに興じることでしょう。その横で大人たちは、子供達に自然で遊ぶルールを教えながら森林が奏でる音と香りに囲まれ穏やかなひと時を過ごす。そんな日本の原風景のひとつとも言える環境が、山形県のごく身近な自然にあるのです。

草や木の命も尊く想おうとする山形独自の自然観はまだそれほど知られてはいないかもしれませんが、それを広めて行くためにも私達は「草木塔の精神」を大切に、皆様に木材製品の温もりと楽しさに加え、自然への感謝の気持ちを伝える。もくロックを通じてそんな気持ちをお届けしたいと思います。



また、地域資源を活かすという視点を違った角度から見ると、資源を消費する活動という側面があります。そこで私たちは、2016 年から「やまがた絆の森プロジェクト」に参加し、もくロックの森」として地域の山の一部を近隣の方々と協力しながら、ゴミ拾い・下刈り・倒木処理・植樹などの活動を行っている事から「木からはじまるSDGs」として以下の活動も行っています。

⑫持続可能な生産と消費

工場であまれる二酸化炭素の排出をできるだけ打ち消せるよう森林整備活動による樹木での二酸化炭素の吸収を促進できるよう活動していきます。



木製品は自然に還りごみになる割合が低い素材であり持続可能な資源である為、木製品への置き換えをお客様に提案していきます。

12 つくる責任 つかう責任



材料を木にする = 持続可能な資源を使う

⑮陸上資源

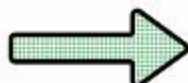
森林整備活動を行う事で、多くの方々に自然を楽しみながら、山の大切さや身近な事で出来る環境保護を地域の人々へ伝え次の世代に美しい森林を継承できるように継続して活動していきます。



15 森の豊かさを守ろう



もくろくの森での
整備活動



- ✓ 荒れた森の再生
- ✓ 人と自然の共存
- ✓ 森の大切さを学ぶ場所づくり

⑭海洋資源

「山が荒れると海が荒れる-」昔からこういわれるように密接につながっている海と山。
森林整備活動が海へとつながる事も意識して環境資源の継続の一助となるように取り組んでいきます。



14 海の豊かさを守ろう



森を整備すること = 海を豊かにすること